

社会資本総合整備計画

中間評価書

令和04年03月31日

計画の名称	富士吉田市「富士の麓の安全・安心計画」その2（防災・安全）														
計画の期間	平成30年度～平成34年度（5年間）											重点配分対象の該当			
交付対象	富士吉田市														
計画の目標	南海トラフ巨大地震などの大災害に備え、住民の避難に資する社会資本の老朽化対策や事前防災・減災対策を一体的、総合的に実施し、安全安心な地域づくりを実現する。														
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		124	A	124	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （A+B+C+D）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H30年度当初	H32年度末	H34年度末
1	重要な管路施設の耐震化率を3.0%（H30年度当初）から5.0%（H34年度末）に増加させる。			
	重要な管路施設の耐震化率	3%	4%	5%
	重要な管路施設のうち、耐震性を有する管路及び耐震化対策を施した管路の延長（km）/重要な管路の延長（km）			

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定		避難行動要支援者名簿の提供	

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	A07-001	下水道	一般	富士吉田 市	直接	富士吉田市	管渠（ 汚水）	-	耐震化調査・実施設計（ 地震対策）	調査・設計業務	富士吉田市	■	■				15		-	
		総合地震																		
	A07-002	下水道	一般	富士吉田 市	直接	富士吉田市	管渠（ 汚水）	-	耐震化調査・実施設計（ 地震対策）	調査・設計業務	富士吉田市				■		7		-	
		総合地震																		
	A07-003	下水道	一般	富士吉田 市	直接	富士吉田市	管渠（ 汚水）	改築	重要な管路施設耐震化（ 地震対策）	管路施設の耐震化	富士吉田市	■	■	■	■	■	102		-	
		総合地震																		
											小計						124			
											合計						124			

中 間 評 価

○ 中間評価の実施体制、実施時期

中間評価の実施体制

庁内の関係課より評価員を選定し、中間評価を実施。

中間評価の実施時期

中間年度の翌年度（令和３年度）

公表の方法

ホームページにて公表

○ 事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

平成30年度よりマンホールの浮上防止工法と継手対策工法を併用し、管路施設の耐震化を実施しております。計画の達成状況として、中間年度の目標値である4.0%を達成しました。耐震化が進んだことで地域住民の安心・安全が確保されました。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○ 特記事項（今後の方針等）

中間年度目標を達し、計画の進捗状況は良好です。今後も計画的に事業を進め、安心・安全な地域づくりを進めていく。

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1			
	中 間 目標値	4%	
	中 間 実績値	4%	